

Win書庫 V4.1

— 書誌自動登録機能を実装した最新バージョン —

STSは活力ある図書館作りをお手伝いします

図書館の運用をコンピュータで行いたいけれど、予算がなくて困っている！

データ入力のことを考えるとコンピュータ化を躊躇してしまう！

こんな図書館に最適！！

Win書庫は、こんな悩みを一気に解決します。

- ・フリーソフトで無料
- ・データはWEBから自動取得可能

Win書庫はどんなソフト？

書庫は1989年に最初のバージョンが開発されました。図書管理ソフトは手が届かないほど高価で、とても学校で購入することができない時代でした。予算が無くても「十分な機能を持ったソフトを育てる・・・」という目的でこのソフトが誕生しました。現在でもその意志は受け継がれています。日々利用者の声を受け止めて、より良いものへと改良が加えられており、STSのホームページを通じて、いつでも最新の状態を維持できるようになっています。そこには30年間以上の実績とノウハウがあります。図書館のコンピュータ化を通じて、学校図書館の活動を豊かにしたいと思われる学校は、このソフトをいつでも無償で自由に使用することができます。一歩踏み出せば、新しい図書館が見えてくるのです。

Win書庫 V4.1 の特徴

- ★ 市販のソフト以上の機能をフル装備しています。
- ★ 「簡単運用メニュー」を利用すると、蔵書登録を含めてほとんど手間のかからない運用が可能です。
- ★ 「通常メニュー」を利用すると、高校・専門学校・高大レベルの図書館管理が可能です。
- ★ 最新バージョンのメニューがあれば、メニュー起動時に確認があり、その場でダウンロードできます
- ★ CSVデータを利用して、他のソフトとの間でデータ入出力が可能です。
- ★ Webサーバーを使って、複数校で資源共有運用ができます。(Webサーバーを準備する必要があります。) ※資源共有運用は、Webサポート会員のみ



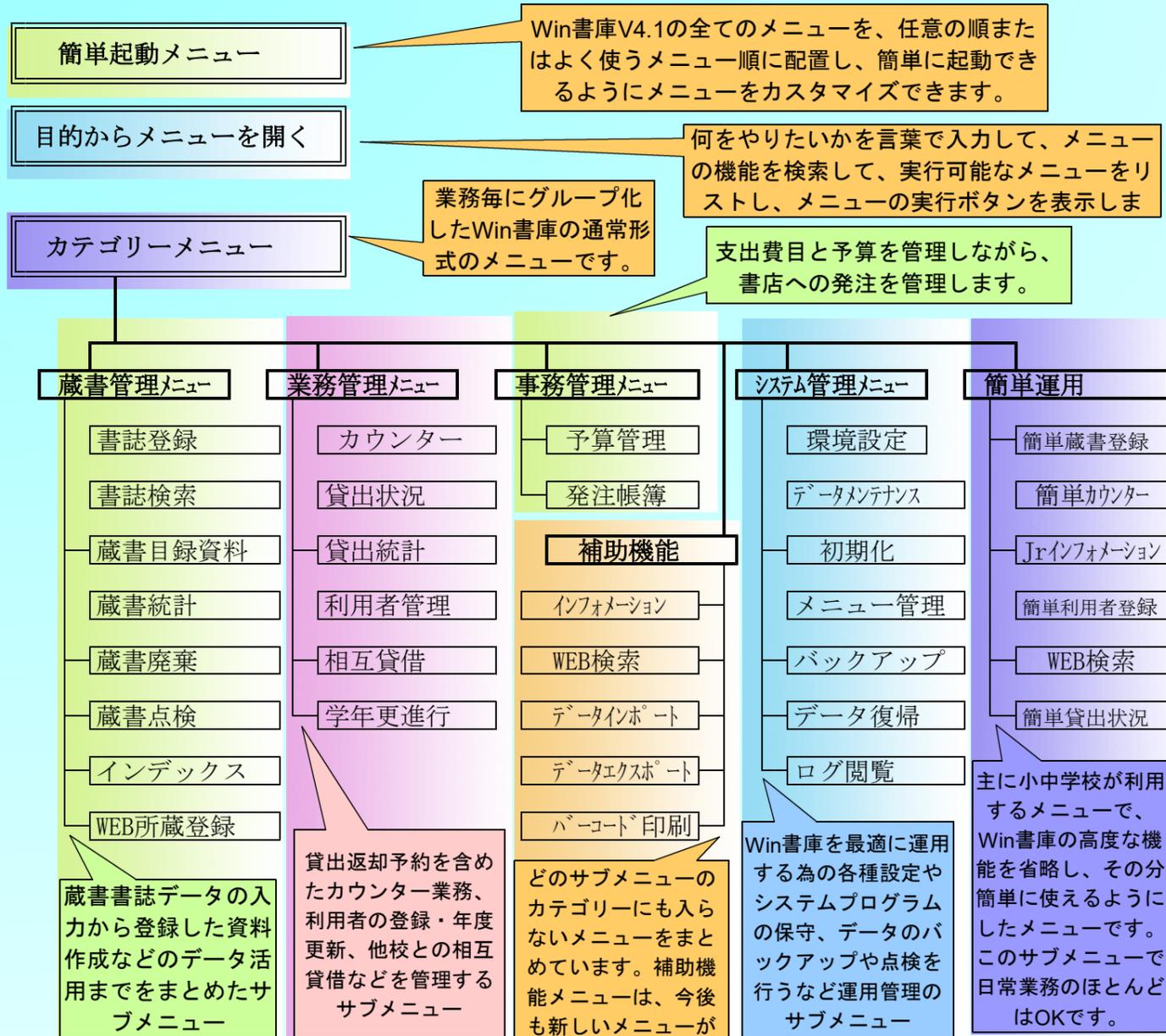
どうすれば利用できるの？

Win書庫を利用するのに、利用申請も費用も必要ありません。Win書庫は「フリーソフト」ですので、使いたいと思ったら、STSのホームページからダウンロードして下さい。ダウンロードしたファイルをどのようにセットアップするかもホームページに説明文書があります。ただ注意していただきたいのは、サポートに関してです。Win書庫のサポートは、STSのホームページ上でのみ行います。サポートの労力を提供しないことが、書庫をフリーソフトとして維持できる元ですが、サポートが必要な方は、サポート会員になっていただくことで、個別のサポートを提供します。通常会員であれば年額2000円で、問題が解決するまで、きめ細かいお手伝いをさせていただきます。詳細はSTSホームページのサポートページをご覧ください。

使用するには何が必要？

- ★ まずコンピュータが1セット必要です。Windows7以降が動作しているコンピュータを準備して下さい。(推奨はWindows10以上)
- ★ ※新規購入する場合は、一番低価格の機種で十分です。次にバーコードリーダーが必要です。無くてもバーコード番号を手で打ち込むことで運用できますが、実用的ではありません。
- ★ ※USB接続タイプのものが必要です。
- ★ いろいろなものを印刷するために、プリンターが必要です。使用するコンピュータに接続できるものなら、特に指定はありません。印刷にExcelを使用するので、Excel(どのバージョンでも良い)または LibreOffice (OpenOffice) を準備して下さい。
- ★ ネットワーク運用には、コンピュータが複数必要です。

「Win書庫V4.1」メニュー構成：



システム動作環境：

対応OS	Windows 7, Windows 8(動作しますが、サポート対象外), Windows 10, Windows 11	CPU	左記OSが動作可能であればよい
ディスプレイ	解像度1024×768以上	メモリー	使用するWindows OSの要件を満たしていること(多い方が快適)
バーコードリーダー	USBインターフェイス	ハードディスク	サーバー機もしくは主端末は800MB以上、クライアント機はバックアップ用に300MB程度の空き容量が必要
プリンター	Windows対応プリンター	その他	印刷にExcelマクロを利用する為ExcelまたはLibreOfficeが必要です
ネットワーク	Windows標準(TCP/IP) 書誌登録やシステムの更新をWEBを利用する場合はインターネットに接続する環境が必要		

ダウンロード先・サポート：

書庫テクニカルサポート (STS) 【ホームページアドレス】 <https://sts.exp.jp/>

「Win書庫」はフリーソフトで自由にお使いいただけますが、サポートは有償会員のみ対象です。
(サポート会員会費(年額)： 通常会員 2000円、Web運用会員 10000円)

簡単に運用したい場合はどこまでも簡単に！

本格的に運用したい場合はどこまでも本格的に！

※機能抜粋

《簡単運用の手順》

- ① ダウンロードしたファイルからWin書庫をセットアップ
- ② 図書にバーコードラベルを貼付
- ③ 「簡単運用メニュー」を開いて運用開始

えっ！これだけ？と思うかも知れません。

{カウンター}メニューから、本を貸し出してみましょう・・・

＜利用者番号をスキャン＞



＜未登録利用者はその場で登録＞



＜本の資料番号をスキャン＞



＜未登録の本はその場で登録＞



どうです、ちゃんと本のタイトルが表示されましたね！

まだ何も登録していないのに、タイトルが表示されるのは、「Win書庫」が、インターネットのサイト※からこの本の情報を取り込むからです。（100%取り込める訳ではありません。JANコードが無い本や古い本は、別の方法でデータを取り込む必要がありますが、学校図書館で利用する本なら、だいたいはOKです。どうしても取り込めない本だけ、手入力します。）

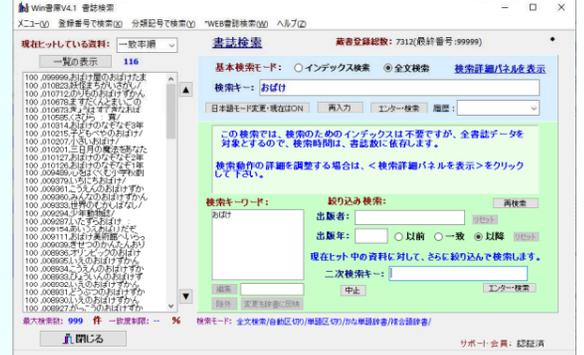
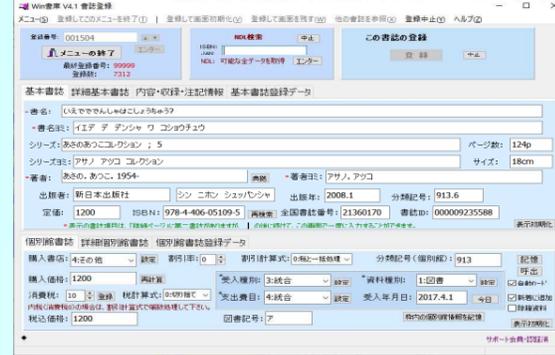
※ 主に国立国会図書館(NDL)サーチを利用

参考：

JANコードのスクリーンが必要なのは、登録時の1回だけです。一度スクリーンすると、そのデータは「Win書庫」に登録されますので、2回目からは「本の資料番号」をスクリーンしただけでタイトルが表示されます。

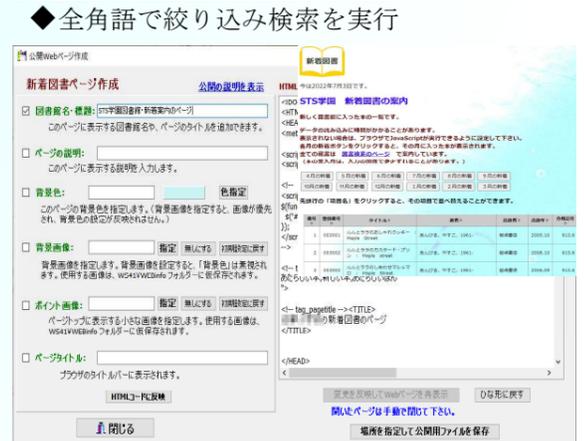
《蔵書管理》

- ・NDL-OPACが利用可能 (Internet接続環境が必要)
- ・資料一括修正や一括廃棄
- ・他校図書館の相互貸借受入



《WEB公開》

- ・登録した蔵書からリファレンス資料の作成やWEBへ公開することが可能
- ・WEB新着案内
- ・WEB蔵書検索



《貸出管理》

- ・利用者はファイルによる自動登録が可能。貸出一覧からは、督促状発行や一括返却などが可能。受入れた雑誌の貸出管理が可能



《運用管理》

- ・発注帳簿を利用した予算管理、登録データのテキスト出力・テキスト入力、WEBに接続して行うWin書庫のシステム更新などが可能。



◆発注帳簿管理画面

◆利用者バーコード印刷画面